



みなさまの「感謝」の一言に支えられて

船橋市立一宮少年自然の家 所長 浅岡 裕

令和7年がスタートいたしました。今年もよろしくお願いいたします。

昨年は船橋市内の小学校54校の校外学習をはじめ、夏休みや週末には多くの青少年団体のみなさまにご利用いただきました。今年も自然の家において元気いっぱい笑顔で活動していただき、満足に退所していただけるよう職員一同力を合わせ、安心して安全な施設運営に努めてまいります。

昨年も利用者の方々から退所の際に、「ありがとうございました」「また来ます」「子供たちが喜んで過ごすことができました」など、感謝がたくさん詰まった温かなお言葉をいただきました。その言葉を耳にしますと、思わず笑顔が溢れてしまいます。退所の際の短い時間ですが会話がはずみ「またお待ちしております」という言葉が自然と出てきます。そしてその言葉が我々職員の原動力となっています。感謝の一言は短い言葉ではありますが、優しさやありがとうの気持ちがぎゅっと詰まっていると受け止めております。その言葉を今年もたくさん言っていただけるよう努力してまいります。

広がるネットワーク ～施設間連携・ボランティアの輪

その1 施設間連携 ⇒ 千葉県立東金青少年自然の家との連携

「星空観察会」

夏と冬の年2回、船橋市の小学生とその保護者を対象に星空観察会を実施しています。今年で4年目を迎えた人気の高い事業となっており、星座への造詣が深い千葉県立東金青少年自然の家の職員を講師に招き、星座観察会を行っています。

三大流星群である「ペルセウス座流星群」の他、天体・季節の代表的な星座の観察を精度の高い天体望遠鏡を活用して実施するなど、他施設と連携することで質の高い事業の提供を行っています。

「ジュニアキャンプ」

船橋市と山武地域の小学4～6年生を対象とした施設合同キャンプを実施しました。会場の東金青少年自然の家にテントを設営し、野外炊飯やキャンプファイヤーなどの体験活動を行いました。

地域をまたぎ子供同士が交流・協力したり、普段体験できない非日常的な体験を味わう貴重な場となりました。



その2 ボランティアの輪 ⇒ 大学や高等学校等との繋がり

「子供たちと全力で楽しんで、子供たちの活動を一緒に盛り上げましょう」をキャッチフレーズに、一宮町周辺の高等学校や千葉県内の大学を対象に事業ボランティアの募集を始めて3年が経過しました。昨年度あたりから大学生の協力が少しずつ得られるようになり、今年度は3泊4日で実施の「通学合宿」や日帰り事業の「わくわくディキャンプ」において大学生のボランティア参加が増し、子供達とのコミュニケーションを大切にしながら事業のサポートを行ってくれました。

参加した大学生は教員を目指している方が多く、ボランティア活動を通じてスキルアップやモチベーションアップの一助を担えればと考えています。

また高校生のインターンシップや中学生の職場体験の受け入れも積極的に行い、キャリアアップ体験をとおして自然の家の仕事への理解が深まればと思っております。この体験をきっかけに、ボランティアだけでなく「誰かのために」活躍してみたいと思える方が多くなることを願っています。そして、このような活動をとおして「人と人」との関わりの輪を広げていくことが、自然の家の一つの役割であると捉え、今後もより一層の力を入れて活動支援に努めます。



一宮の自然と文化を発信！「ファミリーチャレンジシリーズ」事業紹介

一宮少年自然の家では、体験活動をととして一宮町の魅力を伝える4つの事業を実施しています。「ファミリーチャレンジ」と銘打ったこの事業では、季節や自然環境、文化や伝統をテーマにシリーズ化して実施しています。また「海辺の探検に行こう」や「ホタル観察会」は令和4年度より実施しており、リピーターの多い事業でもあります。ここでは、令和6年度のファミリーチャレンジを紹介していきます。

海辺の探検に行こう（5月実施）



アカウミガメの産卵をととして海辺の環境の在り方について理解することを目的とした事業です。「一宮ウミガメを見守る会」を講師に迎え、ウミガメの生態系をととして自然環境保護の大切さを学びました。また海岸散策では海の自然を味わい、海岸で採取した貝を使つてのペンダント作りを行いました。参加者からは「ウミガメの生態を学びました。」「生き物に触れ大自然で遊ぶことが大人も子供にもいかに大切なのかを感じました」などの声が聞かれました。

ホタル観察会（6月実施）



毎年募集開始日にほぼ定員に達してしまうほど人気の高い事業です。昼間には指導員による水に関わる話や水の不思議について実験し、水資源の大切さを学びました。夕方にホタルの生息地に移動し観察会を行いました。講師には地元の「一宮ネイチャークラブ」のみなさまを迎え、ホタルの種類や生息場所についての説明を聞いた後、ホタルが現れるのを待ちました。突然表れたホタルの群れの光の共演にくぎづけとなり感動の声が多く聞かれました。

秋の一宮を満喫しよう（10月実施）



秋晴れの中、多目的広場で自然物の収穫や五感を使って自然を感じるゲームを行いました。その後、自然の家で育てたさつまいもの芋ほり体験をし、収穫した芋を使ってさつまいも汁をつくりみんなでおいしく頂きました。参加者からは「季節の変わり目を感じることができました」「初めて芋ほり体験ができ楽しかった」という声があり親子で秋の一宮を満喫しました。

陶芸・太巻き寿司づくり（3月実施予定）



千葉県の郷土料理の一つである房総太巻き寿司を作ります。そして一宮在住の陶芸家を講師に迎え陶芸教室を行います。本格的な粘土を使い、手びねりで作品を仕上げます。今年度で2回目の実施となります。

【実施日】令和7年3月8日（土）～9日（日）

【申込開始日】令和7年2月1日（土）午前9時より
電話受付 ※詳細はホームページ参照
ご参加お待ちしております。

五感で感じ 共有する場所 船橋市立一宮少年自然の家
〒299-4303 千葉県長生郡一宮町東浪見7493-2
☎0475-42-5711 受付時間：9：00～17：00
☎0475-42-5712 □<https://www.funabashi-sizen.jp/>

施設詳細は
こちらから
⇒



Xへのフォロー
をお願いします。
⇒



指定管理者 株式会社オーエンス 本施設は指定管理者制度により、令和3年4月から株式会社オーエンスが管理・運営しています。